セミナーニュース
発行日：2024年07月29日

Peace Now! 2024 No.8

締め切り迫る！残りわずか！申し込みは…
8月5日(月)　23:59まで！

対話を通して「つなぎ・拡げる」一人ひとりの想いがはじまり

参加対象は…

- Peace Now! は組織委員だけでなく、各大学生協に所属する**すべての組合員が対象**です！自大学を超えた仲間と語り合いましょう！
- 「平和について学び、考えたい」という組合員のみなさんのご参加をお待ちしています！

SNSも更新中！#未来へのバトン

- Peace Now!の内容は平和の想いを拡げたい大学生が中心になって作ります。現地実行委員の学生の動画もアップされています👀 ぜひご覧ください!
- Xでは#未来へのバトン企画を実施中！あなたや仲間と一緒に平和への想いを発信していきませんか？

各地域の概要は👇HPをチェック！

3地域同時開催
9月3日(火)～5日(木)

Hiroshima
- 平和祈念資料館
- 原爆ドーム
- 被爆者講話　等

Nagasaki
- 原爆資料館
- 平和公園
- 被爆者による講話　等

Okinawa
- 平和祈念資料館
- ひめゆりの塔
- 戦争体験者の証言　等

PN! Hiroshima2024のポイント

原爆の子の像▼
これは8/6 SUNRISEです
これはあなたの祈りです
世界に平和をすくための

ヒロシマの悲劇と復興

傷心地付近は広島でも有数の繁華街でした。1929年時点で人口は27万人以上。全国で7番目に大きかった都市です。広島には大きな被害が無い事に不安と不思議な気持ちだったと当時の人は言います。そして1945年、悲劇は起きました。わずかに残った建物を活用し、復興へ向けて人々は動き出しました。被爆の証人として残されている原爆ドームは1996年に世界遺産に登録されました。数字だけの情報からは読み取ることのできない、その場所・物・遺構にまつわる物語に触れることができます。

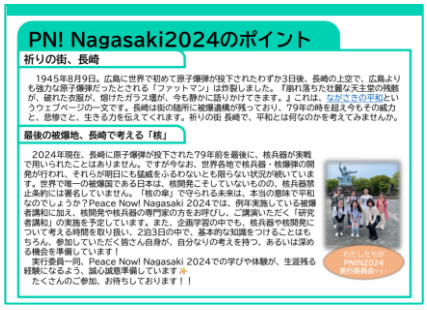
未来のために、私たちは「対話」する

わたしたちが実行委員です！

●過去から学び、対話する。～原爆とヒロシマ～
ヒロシマ＝被害者という面だけではなく、加害してしまった部分も学びます。原爆投下で多くの被害を受けながらも、一人ひとりの想いで復興を遂げました。見て・聞いて・対話し、今のヒロシマがあることを自分なりに解釈してみましょう！

●現在を知り、対話する。～私たちと平和～
身近な生活の中で感じる「平和」や「幸せ」は何ですか？生活を振り返り、自分自身の考えを整理しましょう。他人事ではない"社会問題"を過去を学んだうえで考えて対話してみましょう！

●未来のために、対話する。～One is Small, but not Powerless!～
なぜ、未来を考える必要があるのでしょうか？その意見交流は、ひーでーなう当日までのお楽しみ…！これまで続けてきた、平和活動は社会に対して確かに影響がありました。イチ大学生である私たちにもできる平和活動があることに気づき、具体的に自分たちが行うことを考えましょう！



PN! Nagasaki2024のポイント

祈りの街、長崎

1945年8月9日。広島に世界で初めて原子爆弾が投下されたわずか3日後。長崎の上空で、広島よりも強力な原子爆弾だったとされる「ファットマン」は炸裂しました。「溶け落ちた壮麗な天主堂の残骸が、砕けた衣服が、焼けたガラス瓶が、今も静かに語りかけてきます。」これは、ながさきの平和というウェブページの一文です。長崎は街の随所に被爆遺構が残っており、79年の時を経た今もその威力と、悲惨さと、生きる力を伝えてくれます。祈りの街 長崎で、平和とは何なのかを考えてみませんか。

最後の被爆地、長崎で考える「核」

2024年現在、長崎に原子爆弾が投下された79年前を最後に、核兵器の実戦で用いられたことはありません。ですが今なお、世界各地で核兵器・核爆弾の開発が行われ、それらが明日にも猛威をふるわないとも限らない状況が続いています。世界で唯一の被爆国である日本は、核開発こそしていないものの、核兵器禁止条約には署名していません。「他の国」で守られる未来は、本当の意味で平和なのでしょうか？Peace Now! Nagasaki 2024では、例年実施している被爆者講和に加え、核開発や核兵器の専門家の方をお呼びし、ご講演いただく「研究者講和」の実施を予定しています。また、企画学習の中でも、核兵器や核開発について考える時間を取り扱い、2泊3日の中で、基本的な知識をつけることはもちろん、参加していただく皆さん自身が、自分なりの考えを持つ、あるいは深める機会を準備しています！

実行委員一同、Peace Now! Nagasaki 2024での学びや体験が、生涯残る経験になるよう、誠心誠意準備しています✨

たくさんのご参加、お待ちしております！！

わたしたちが
PNN2024
実行委員会です！

PN! Okinawa2024のポイント

沖縄の地を堪能

琉球から、アメリカ世を経て、独自の歴史と文化を紡いできた沖縄。日本のほかのどの地域とも異なるものがあり、観光文化と平和の観点から「沖縄」を堪能できます。

日常から戦争へ

1945年、沖縄では民間人を巻き込んだ日本唯一の地上戦が繰り広げられました。沖縄戦においては、軍人だけでなく、沖縄の住民や10代の若者も戦争に駆り出され、戦没者は約20万人にも上りました。
私たちと変わらない生活を送る当時の歴史や実態を見て聞いて触れて学ぶことを通じて、私たちの生活の土台となっている「平和」とはどのようなものか身近に実感することができるはずです。

Peace Now!の「Now」を知り考える

沖縄には、国内にある米軍基地のおよそ70%が集中しています。
戦後、沖縄では米軍による統治時代が27年続き、県内に多くの米軍基地がつくられていきました。1972年の日本復帰以降も、米兵による事件事故や基地返還・移設問題、環境問題などが残っており、例年県の重要な施策テーマとして挙げられています。
また燃料メディアでは知りえないリアルなオキナワを現地でみて触れることで、私たちが「今」そしてこれから先考えていくべき社会的課題について地球に生きる一人の人間として深める機会になります。

わたしたちが実行委員です！

univ. CO-OP
発行元：全国大学生活協同組合連合会｜執筆者：戸張桜（全国学生委員会）
お問い合わせ：Peace Now! セミナー事務局（nfuca-PeaceNow@univ.coop）